

STEP BY STEP



写真提供：国民救援会

てきたのが、3月30日の大崎事件第4次再審請求審の開始、そして、湖東記念病院人工呼吸器事件で西山美香さんに真っ白の無罪判決。両方に共通しているのが事件ではなく、事故だった、ということ。それにも関わらず、警察・検察が無実の女性を犯人に仕立て上げてしまったという点です。西山さんの裁判では、法廷で大西直樹裁判長が「西山さん」と名前で呼び続け「西山さんはこれまで裁判を通して、支えてくれる人には会いました。これからは自分を大切に生きて下さい。きょうがその第一歩となることを願っています」と締めくくったそうです。

この2つの事件に関しては、冤罪犠牲者の会として緊急声明を当会ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。 <https://enzai.org/>

そして、2月28日は冤罪犠牲者の会主催の第1回イベント「山際永三講演会」を文京シビックホールで開催いたしました。用意した客席の数を上回る方たちにお越しいただき、慌てて椅子やテーブルを用意するという嬉しい悲鳴で幕を開け、会場は満員になりました。

ウルトラマンや初代コメットさんの監督であった山際さんが、何故、冤罪に関わるようになったのか、これまで支援してきた主な事件をあげただけでも、帝銀事件、警視総監公舎爆破事件、土田邸・日石郵便局・ピース缶事件、ロス疑惑・三浦和義事件、首都圏OL連続殺人事件、氷見事件などがあり、山際さんが主導した支援活動により、最終的に無罪判決を獲得して決着したものも数多くあるということです。そして、80を越えた現在も、田園調布資産家殺人事件、天竜林業高校調査書改ざん贈収賄事件などの支援活動を主導する、熱血漢であり、現役の社会活動家です。人生の見本にしたい、素晴らしい生き方をされている方だなあと、胸が熱くなりました。

当事者の声のコーナーでは上記の田園調布資産家殺人事件で殺人犯の汚名を着せられた折山敏夫さんがご自身の経験を語りました。この日の模様はユーチューブへ行って、「冤罪犠牲者の会 山際永三」と検索していただければ、講演会のすべてを観ていただくことが可能です。

カルロス・ゴーンさんの国外逃亡のニュースで幕を開けた2020年は日本の人質司法に世界の注目が集まり、コロナウィルスの世界的流行、東京オリンピックの延期、桜を見る会、森友問題の再熱、河合克行前法相と案里参議院議員夫妻の公選法違反疑惑、黒川弘務東京高検検事長の定年延長問題、と既に数年分の10大ニュースが押し寄せてきたかのような波乱の幕開けです。激動の1年になりそうな予感です。（なつし聰）



湖東判決傍聴記

300名を超える希望者に用意された、たった15枚の傍聴券。クジ運の悪い私なのに当たって、あの感動の判決を聞くことが出来ました。

皆さんもご存知のように、今市事件で東京高裁右陪席として最悪の判決に加わっていたのが大西裁判長。どうせ中身の無い無罪判決で終わるのだろうと思っていました。警察が事故の可能性を示した医師の鑑定を隠していたことが明らかになっても無罪論告をせず、詫びもしないで「裁判所の判断に任せること」などと言う検察の態度には腹に据えかねるものがありますし、判決の中身次第で今市事件のことも抗議してやろうと思っていました。ところが、あの判決です。

大西裁判長は本当に丁寧に西山さんに説明しながら、自白を証拠排除し、山本誠刑事の責任を説き、「この判決を機に司法の瑕疵を是正するために警察、検察、それに裁判所や弁護士も含めて、より良く改革して行く努力をすべき」という趣旨を語りました。本当に驚きました。大西裁判長は泣いていました。多分、純真で正直な西山さんの人柄を知り、その西山さんに冤罪の苦難を与えた裁判官としての思いが、あの涙にはあったのだろうと思います。まるで私の苦難も癒されるようで、ヤジるどころか私も涙が出ました。

実は、「獄友に支えられた」の言葉は聞いたのですが、まさか裁判官が言うとは思えないの錯覚、聞き間違いだと思ったのです。新聞を見て事実だったと判って、また驚きました。どこで、どうして「獄友」という言葉を認識したのでしょうか。あの映画？ NHKの番組？どちらにしても裁判官にも獄友たちの絆が知られていることを示します。

今回の無罪判決では、どのマスコミも厳しく警察や検察を批判しています。司法システムや冤罪が明らかになっても無責任でいる警察官や検察官にも批判の矢が向けられ始めました。この判決に「捜査は適正だった」とか「承服しがたい点がある」などとホザク警察と検察。私たちの力で変えてあげましょう。

皆さん、これからが犠牲者の会の出番ですよ！！（桜井昌司）

裁判官よ、社会の木鐸たれ

身に覚えのない罪で2008年8月22日、私は静岡県警に逮捕されました。この年の3月末をもって33年余の教員生活を定年退職し、4月から某大学の薬学部に聴講生として通っていたときのことでした。私には、定年退職後、老人福祉施設で野菜や草花、特に薬草を入居の方々と一緒に育て、ボランティアで「医食同源」を実践したいという夢がありました。その夢実現に向かって一年間、薬草について学ぼうと思ったのです。そのとき既に、一年後、私を迎えてくれる老人福祉施設も決まっておりました。人の夢はまさに“夢”なのです。

身に覚えのない罪とは、教員最後の勤務校であった県立天竜林業高校で、生徒の進学用調査書の成績改ざんを担任たちに指示したという「虚偽有印公文書作成」の罪です。更にそれは膨らんで、その生徒の祖父（元天竜市長）から便宜を図った謝礼として20万円を受け取ったとされた「加重収賄」の罪も加わります。私は逮捕時から一貫して否認し、そのため身柄拘束は345日間に及びました。検察庁の取調室において「ここには人権などというものは存在しない」とうそぶき、虚偽自白を迫る検察官の恫喝にも私は耐えました。怒鳴る、蹴散らす…、そこは無法地帯でした。異様に光る眼をもつ検察官が、否認を貫いた私に吐き捨てた検事調べ最後の締めの言葉は「裁判は真実がわからないまま行われる」でした。これが日本の検察の現実です。

当時、私は「裁判官だけはわかってくれる」と信じていました。2015年10月14日、私の再審請求審において、元市長の証人尋問が行われ、元市長は「（北川に）孫の進学に便宜をはかるよう依頼したこともないし、お金を渡したこともない」と証言しました。にもかかわ

らず、裁判官は屁理屈を並べて元市長の証言に信ぴょう性がないと恣意的に断じ、私の再審請求を棄却したのです。狭く、汚く、臭い独房で、“わたし、もうじきダメになる…”と、死の恐怖よりも心が壊れる不安にかられていたあのころ、それでも私は、裁判官は正義をこよなく愛する人だと信じていたのです…、愚かでした。

私が押し付けられた冤罪は、現在、再審請求の即時抗告審が東京高裁に係属しています。汚名を墓場までもっていくことはできません。冤罪犠牲者の皆様、裁判官に正義を尊ぶ心を蘇らせましょう。支援者の皆様、何卒、この闘いの道を共に歩んでください。（天竜林業高校調査書改ざん贈収賄事件：北川好伸）

国循サザン事件のこれまでと今

私は、かつて、大阪府にある国立循環器病研究センター（国循）に勤めていました。私の仕事は、電子カルテなどの病院情報システムの導入や運営であり、私はその担当部署の責任者でした。国循入職前は、大阪大学医学部で准教授として教鞭を執ると同時に、大学附属病院で国循と同様の仕事もしていました。私が阪大から国循に移ったのは、2011年9月でした。国循の病院長から「国循の電子カルテ導入計画が頓挫している。助けてもらえないか」と、私の上司に話があり、私は落下傘部隊のように突然国循に送り込まれ、そのわずか4ヶ月後に予定されていた電子カルテの導入に奔走することになったのでした。

2012年1月、国循では無事電子カルテが稼働しました。私は自分のミッションを終えたとホッとする間もなく、次は国循全体の情報システムを任せされました。当時、国循の情報システムは巨大企業N社に「丸投げ」の状態でした。そこで私は契約条件を見直し、大ナタを振るう改革を始めたのです。その結果、N社は失注し、代わりに、D社が受注することになりました。業務改革は順調に進み、契約金額は大幅に下がる一方で、システムは劇的に進化し、国循の職員には大変喜ばれていきました。

ところが、2014年11月、私は、大阪地検特捜部に突然逮捕されたのです。私が「D社から金品を受け取って契約の便宜を図った」とマスコミでは報道されました。私は何ももらっておらず、一貫して無罪を主張しました。結局、検察は贈収賄をあきらめて「D社に契約の機密情報を漏らした」として私を起訴しました。検察は「機密情報」とはN社の「業務体制表」だというのですが、明らかにそれは、契約の機密ではありません。私はあまりの馬鹿馬鹿しさに怒りも涙もなく、自分たちのメンツのためなら何でもする大阪地検の存在そのものが庶民の敵であり、大きな税金の無駄使いであると確信したのでした。

しかし、たとえ無実であっても、起訴されてしまえば「有罪へのベルトコンベア」に乗せられているのが刑事被告人の運命です。公判開始まで2年、審議に2年もかけたにもかかわらず、第一審では検察の主張を丸飲みして有罪、第二審では1年減刑されたものの同じ判断でした。裁判所にはもう期待はありませんが、現在、最高裁判所に上告中です。

「国循サザン」の由来は、私の取り調べの際、検事が手にするファイルすべてに「サザン」と書いてあったことです。人気歌手グループ「サザンオールスターズ」のリーダーは私と同性です。彼らは、仲間どうしで隠語を使っていたのです。何とも人を馬鹿にした話です。これからもご支援をいただけましたら嬉しく思います。なにとぞよろしくお願ひいたします。

（国循サザン事件：桑田成規）

◆お知らせ 狹山事件の再審を求める市民の会が制作したDVD「冤罪を作り出す『取り調べ』－狭山事件の場合」は山際永三さんが台本と演出を担当していらっしゃいます。（問）部落解放同盟中央本部

☎03-6280-3360 頒価5000円

■冤罪ラジオ番組『堺の中の白い花～ほんとに何もやってません』

日本で唯一の冤罪ラジオ番組『堺の中の白い花～ほんとに何もやってません』はFMたちかわから第1・3・5月曜日23時半に放送中。ただし、この番組は全国放送ではありません。放送エリアは限られています。しかし、ネットがあれば世界のどこでも聴けるサイマル放送で、地球の裏側でも聴けるという摩訶不思議な仕組みに支えられています。

過去放送分アーカイブはネットで聴けます。「seesa 堀の中の白い花」で検索してみてください。<http://enzaibusters.seesaa.net/>

■冤罪犠牲者の会主催第2回イベントのお知らせ

6月6日（土）「高杉晋吾さんと安田聰さん」（仮題）場所：NATLUCK茅場町2号館4階大会議場（103-0025）東京都中央区茅場町2-16-4柴宗ビル4階 アクセス：東京メトロ東西線、日比谷線「茅場町駅」1番出口から徒歩3分 開場／13:30 開演／14:00（予定） 詳細未定 ※コロナウィルス感染拡大の不安が広がっています。開催できるかどうか、不安定な要素もあります。ご参加下さる場合は、事前に冤罪犠牲者の会ホームページでご確認ください。

■冤罪犠牲者の会にお電話をいただく場合のお願い

冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。そのような訳でお電話いただいても、応答できるスタッフがおりません。お急ぎの場合、冤罪犠牲者の会に連絡をしたいという場合は下記へお電話ください。

080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聰）個人の電話番号ですので「はい。ユメミノ音泉村です」と応答することがありますが、ご容赦ください。

==冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！==

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが昨年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、百名弱。冤罪に巻き込まれてしまった方、冤罪犠牲者を支援している方、冤罪撲滅に力を貸してくださる方、などで構成されています。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支 店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある、「会費支払方法」をご参照ください。



■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail : info@enzai.org

発行責任者 なつし聰